

**県立三木山森林公園の管理運営に関する評価〔平成 24～28 年度〕**  
**（県立三木山森林公園指定管理者候補者選定委員会）**

**1 施設維持管理業務**

- ・ 清掃、設備保守管理については、管理水準を超える内容で実施している。
- ・ 平成 24～27 年度のアンケートによると、「屋内の清潔さ」について「とても良い」「良い」の平均が約 99%、「屋外の清潔さ」について「とても良い」「良い」の平均が約 98%であり、ほとんどの来園者から満足との評価を得ている。
- ・ 要修繕箇所への対応も適切で、この 5 年間で施設の老朽化や異常による事故は発生していない。
- ・ 今後は進行する施設の老朽化等への対策も必要であると考ええる。

**2 運營業務**

- ・ 平成 24～27 年度のアンケートによると、「職員・スタッフの対応」について「とても良い」「良い」の平均が約 98%であり、来園者への接遇について、ほとんどの来園者から満足との評価を得ている。
- ・ イベント、環境体験学習等の実施回数は、三木山サポーターとの連携により、H24:82 回（計画 68 回）、H25:89 回（計画 68 回）、H26:86 回（計画 82 回）、H27:92 回（計画 77 回）と計画を上回る回数を実施した。「施設全体の満足度」に対する平成 24～27 年度のアンケート調査では「とても良い」「良い」の平均が約 99%となっている。
- ・ ただし、公園のホームページは、「あそぶ」「まなぶ」等の目的別でなく、施設の説明が小項目となって掲示されており、初めて施設を訪問しようとする利用者にはわかりにくい。10 回以上の来園者が 44%（平成 27 年度アンケート）を占めるリピーターの多い公園であり、顕在化していないとも考えられるが、初めての訪問者にもわかりやすい内容に改善する余地がある。

**3 利用状況**

- ・ 来園者は毎年 60 万人を超え、高いレベルで安定した入園者を確保している。
- ・ 来園者の分布は、県内各地からあるものの、三木市内 30%、隣接する神戸市西区 19%（平成 27 年度アンケート）と近隣からの来園者が約半数となっている。三木山森林公園が取り組む森林環境学習、生物多様性保全などの情報発信を強化するなどし、広く県内外からの来園者を呼び込む努力も必要である。
- ・ 有料施設のうち、リピーター利用の多いクラフト館の利用は毎年 90%以上、森の文化館の主要施設である音楽ホールも 50%近い稼働率を確保しているが、茶室については、平成 24～27 の平均利用率が約 21%と低迷している。老朽化もあるが、利用率向上に向けた抜本的な取り組みが課題と考える。

#### 4 収支状況

- ・ 利用料金収入は、毎年計画を上回っており、安定した収支状況である。

#### 5 運営体制

- ・ 15名の限られたスタッフで勤務シフトの調整を適正に行い、支障なく運営している。
- ・ 危機管理マニュアルを整備し、消防訓練も年2回実施。
- ・ 森林整備、環境学習、生物多様性等の事業実施に求められる専門性を維持し、高めていくよう、不断の努力を求めたい。

#### 6 総評

- ・ 来園者アンケートの評価は高く、60万人の来園者を維持向上させている実績は評価できる。
- ・ 今後は、三木山森林公園の特徴である森林整備、環境学習、生物多様性等への取り組みを強化し、その成果を広く発信して、専門家の意見を踏まえながら一層価値の高い公園に育て上げる運営を期待したい。

(参考)

県立三木山森林公園指定管理者候補者選定委員会

氏名	役職	備考
服部 保	兵庫県立大学名誉教授	委員長
宇田 名保美	中小企業診断士	
岩木 啓子	ライフデザイン研究所FLAP代表	
太田 貞夫	神戸新聞パートナーセンター長	
遠藤 英二	農政環境部環境創造局長	